



2025 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 松 田 産 業 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 松田 芳明
 (コード：7456 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役 CSR・IR 部長 田中 善則
 (電話番号 03-5381-0728)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025 年 5 月 9 日に公表しました 2026 年 3 月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2026 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) (2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 240,000	百万円 6,100	百万円 6,500	百万円 4,500	円 銭 173.63
今回修正予想 (B)	288,000	8,000	8,400	6,000	231.50
増 減 額 (B-A)	48,000	1,900	1,900	1,500	
増 減 率 (%)	20.0	31.1	29.2	33.3	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (2025 年 3 月期 中間期)	222,170	6,278	6,580	4,622	178.34

(2) 2026 年 3 月期通期 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 490,000	百万円 13,500	百万円 14,300	百万円 10,000	円 銭 385.84
今回修正予想 (B)	550,000	15,400	16,200	11,500	443.72
増 減 額 (B-A)	60,000	1,900	1,900	1,500	
増 減 率 (%)	12.2	14.1	13.3	15.0	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期 通期)	468,841	12,676	13,523	9,456	364.87

2. 業績予想修正の理由

(1) 第2四半期(中間期)

貴金屬関連事業につきましては、対象の顧客領域である電子デバイス分野の生産状況は緩やかな回復が続き、宝飾分野は買取市場を中心に引き続き好調に推移した結果、貴金屬リサイクル取扱量及び製商品販売量は予想を上回り、貴金屬相場の高騰を背景とした販売価格の上昇も加わり、業績が予想を上回る見込みとなりました。また、食品関連事業につきましても、提案型営業により顧客ニーズを捉えた商品の販売量増加に寄与し、原材料価格の上昇等に対しても概ね価格転嫁が進んだことなどで、業績が予想を上回る見込みとなりました。

以上の内容から、当第2四半期(中間期)連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益の予想値を上方修正するものです。

(2) 通期

貴金屬関連事業並びに食品関連事業ともに、数量面では上半期に比べ下半期での増加を予想していたことに加えて、貴金屬関連事業の業績に影響のある貴金屬相場の先行きについても不透明であることから、下半期の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については当初の予想を据え置き、当第2四半期(中間期)連結累計期間の業績予想数値の修正を勘案し、2025年5月9日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想数値を上記の通り修正いたしました。

(注) 上記の業績予想数値は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

3. 配当予想の修正について

(1) 配当予想修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2025年5月9日)	円 銭 45.00	円 銭 45.00	円 銭 90.00
今回修正予想	50.00	50.00	100.00
前期実績 (2025年3月期)	35.00	40.00	75.00

(2) 修正の理由

当社は、配当等の株主還元について、成長投資に向けた内部留保とのバランスを考慮しつつ持続的かつ安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。

この方針の下で今回発表の業績予想の修正を踏まえ、第2四半期末配当並びに期末配当をそれぞれ前回発表予想の1株当たり45円00銭から50円00銭増配し50円00銭に予想を引き上げ修正いたします。これにより、修正後の年間配当金は1株当たり100円00銭となります。

(注) 上記の予想は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上